

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	その他小売〔雑貨卸〕 （経営者）	・乗客数の多さと売上から、良くなるとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2月は春節により需要が増え、3～4月は観光シーズンに向かって徐々に伸びていく。
(南関東)	やや良くなる	商店街（代表者）	・中国、台湾からの春節需要と、この寒気が去った後は冬から春への移行が早いという予報への期待で、やや良くなるのではないかと。
		商店街（代表者）	・夏の参議院議員選挙を控えた今年は、政府のさらなる景気でこ入れ策を、期待したいものである。
		一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・競合相手との値段の競争は相変わらずあるものの、リフォーム関連商品は売れてきている。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・原油価格の低下が落ち着いていき、中国経済も少しは手を打ってきて落ち着く傾向となるのではないかと。株価も同じように考えられるため、数か月の内には、今よりは良くなる。
		一般小売店〔文房具〕 （経営者）	・筆記具を中心とした事務用品や学童用品など、個人向けの文具販売が好調なことから、これから迎える新入学、新生活シーズンも売上増が期待できる。また、お値打ち品や話題の文房具を掲載した、新学期向け新聞折込み広告を行うため、新規客拡大による販売量の増加が見込める。
		百貨店（営業担当）	・中国情勢に注視したい。かつての爆買いは見込めないものの、継続的な成長はある程度見込んでいる。従来は、客単価上昇により売上の底上げをしていたが、今後は乗客数の維持、増加が売上確保の鍵となる。
		百貨店（営業担当）	・ファッションは前年の秋冬と比較して、大きなトレンドがない。ただし、店舗周辺環境の改善により、ファッションは微増、化粧品や、特選品はまだ伸びる要素がある。
		スーパー（経営者）	・まだまだ手をかけるところは、たくさんある。
		スーパー（店長）	・来月は改装も控えており、当然売場の様子も変わる。今より極端に良くなるとは思わないものの、物珍しさの客も来店すると思うため、やや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・たばこの値上げによる駆け込み需要が見込まれるため、3月にかけては良くなる見込みである。
		乗用車販売店（営業担当）	・これから3月決算に向けて、動きがあると感じられる。
		乗用車販売店（販売担当）	・運送業界は、将来的に良くなるだろうと思っている。特に、物流関係はオリンピックや東北の復興などで動く。物流なので当然、建設関係も含まれるため、良くなる。ただ、これはずっと続くわけではない。また、なかなか肌感じられないというのが現実のようである。政治が安定し、良くなれば経済的にも良くなるのではないかと期待している。
		住関連専門店（営業担当）	・リフォーム業界では消費税率の再引上げをにらみ、需要取り込みの政策を活発化させており、客の投資意欲が高まっている。当面の間は、この流れを維持する。
		その他飲食〔居酒屋〕 （経営者）	・オリンピックまでは景気が上向きになるとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・インバウンド予約は、まだまだ増加する。
		旅行代理店（販売促進担当）	・今年はオリンピックイヤーで、リオデジャネイロのオリンピックで、個人向けの販売も始まり、それに向けて販売を強化していく。また、前年2,000万人に迫ったインバウンドに対する取組みが進んでいる。それらを良い材料に、結果が出てくると考えている。
		通信会社（経営者）	・企業業績が上向いているとの決算見通しが発表され、賃上げへの期待が高まる。消費に向かうのではないかと。
通信会社（経営企画担当）	・来年度に向けた案件の動きがある。		
ゴルフ場（経営者）	・当業種は客の会社の景気や株価変動等の影響が、遅れてやってくるトレンドがあるため、今回も遅れて好景気がやってくると予想している。		
ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先の来場予約数は、平年並みあるいは、前年以上である。		
ゴルフ場（支配人）	・春に向かい天候が良くなったり、企業の春闘での賃上げ等プラスの材料が増えてくれば、上向いていく。		
その他サービス〔福祉輸送〕 （経営者）	・受注残を膨らませた車種が、配車、登録されて売上となるのが、ちょうど2～3か月後と予定されているため、上向きになると考えている。		

	設計事務所（経営者）	・仕事量が増えている。また、取引先が当社とともに、客へ提案している案件が契約となり動き出せば、仕事量は増えていく。さらに、新しい案件が入ってきていることもあり、景気は少し良くなっている。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の駆け込み需要があると思っているものの、前回の5%から8%への増税時並みの良い景気にはならずに、景気はやや良い程度ではないか。
	住宅販売会社（従業員）	・客が前向きな考え方になってきている。
変わらない	商店街（代表者）	・現状、あまり良くはみえない。理由の一つには、やはり来年消費税が10%に上がる。また、円安、さらに株価の下落等があり、客の消費意欲が非常に弱くなっているような気がしてならない。そうしたことから、今後なかなか好転するとは考えられない。
	商店街（代表者）	・現況からすると、良くなるとはあまり思えない。周りの状況が変わったときに、どのようなことが起きてくるか、自分の店もいろいろと考えて、変えていかなければいけないという気持ちは強くある。なかなか難しい時代に入ってきているため、これからはそう簡単にはいかないと思っている。
	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・同業者や営業によると、個人の小売業はどれも、かなり厳しい状況が続いているとの話ばかりのため、今後も厳しい状況は続くのではないか。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・家電はあまり動かない。防犯灯のLED付け替えも今年度中に終わるため、3月までに家庭用の太陽光発電申込の提案をするよう取組むつもりである。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・当地のプレミアム付商品券は今月一杯で取扱終了となるが、当社のような専門的な商品に駆け込み需要は考えられない上に、今後も非常に厳しい。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・例年2月は消費が落ち込むため、さほど変化はない。
	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・小売流通業界であるが、良い面も悪い面も両方あるようで変わらない。
	一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・暖冬で暖かいため、来客数が多く良い。また、外商案件も順調に、例年並みの数字をキープしている。ただ、これは例年と変わらない状況なので、急激に良くなっているという感じはしない。むしろ単価が低くなっているなかで、件数が増えており、最終的には行って来いというような感じである。将来案件に関してもそのような傾向が顕著である。
	百貨店（売場主任）	・中国経済に対する不安と株価下落で購買心理が落ちている。より一層、必要な物しか買わない傾向である。
	百貨店（総務担当）	・株価も不安定で高額品である宝飾、美術品なども動きが鈍化している。食品だけが唯一堅調に推移しており、この傾向は今後も続く。
	百貨店（総務担当）	・現状の販売低迷を覆すだけの材料が見当たらない。インバウンドの影響は郊外店舗までは届かない。
	百貨店（広報担当）	・婦人服を中心に前年並みの売上で推移しているため、変わらない。
	百貨店（営業担当）	・天候不順と暖冬の影響で、ファッション商材をはじめ高級雑貨、リビング用品、食料品等、全般的に動きが鈍くなっている。ただし、訪日観光客の買上は良い。この傾向はしばらく続きそうである。
	百貨店（営業担当）	・株価下落による富裕層のストック目減りや、免税優遇のインバウンド効果も一巡してしまったため、好転する要素がない。
	百貨店（計画管理担当）	・個人消費が上向くようなトピックもなく、特段変わらない。
	百貨店（店長）	・政治経済などの先行き不透明感は続いているが、すぐに消費マインドを変えるほどの大きな要因にはならない。
	百貨店（副店長）	・株価、金利などが変動する動きのなかで、どの程度消費動向に影響を及ぼすのか予測しにくい状況である。
スーパー（経営者）	・夏の参議院議員選挙の結果によって変わってくる。	
スーパー（販売担当）	・競合店との価格競争もあり、平均単価が前年を下回っている。単価が下がっている分、買上点数は前年並みにあるものの、客1人当たりの買上金額合計が前年実績まで届かない状況が続いている。	
スーパー（経営者）	・やや悪い状態が変わらず続く。当社だけかもしれないが、競合店が近隣に出店したため、どうしても売上の厳しく、今後もこの状態は続く。景気は、あまり良いとは思えない。	
スーパー（店長）	・暖冬で安値だったものが、積雪の影響で急激に価格が高騰し、先行きも不安定なため、価格に対して敏感な消費者の、買い控えをする生活スタイルに今後も変化は見られない。	

スーパー（総務担当）	・現状は、客の消費動向、買物状況は、力強さに今一つ欠けている。売上は、天候与件等に大きく左右されるが、全体的に消費動向に力強さがあるというわけではなく、今後の天候与件または、社会与件、株価を含めた雰囲気によって、客の動向が変わっていくと思われる。今後の状況に注目していきたい。
スーパー（仕入担当）	・年末から節約志向が続き、株安、円高と不安要素があるなかで、こうした傾向は続いていく。
スーパー（仕入担当）	・買上点数は若干下がっているものの、買上単価が上がって全体をカバーしている。通常品に比べて若干価格が高くて、付加価値のある商品については、動きが良くなってきている。
コンビニ（経営者）	・近隣のマンション工事があるため、来客数は多少増加すると思われるが、一般客は減少傾向である。
コンビニ（経営者）	・客の消費動向に特段の変化はみられず、現状がしばらく続く。
コンビニ（経営者）	・見切り販売も客の支持を得ている。それにより店が少しでも潤い、客と店の間でWIN WINの関係を築いていけると確信をしている。しかしながら、現在、株が乱高下し、ガソリンが安くなっているにもかかわらず、次から次へと社会問題が起こっている。少子高齢化が止まり、社会不安が取り除かれぬ限り、なかなか良い方に動くということは難しい。
コンビニ（経営者）	・コンビニは景気が悪くなっても、必要なものは購入しなければならないという客が多くいる。そうしたことから、今後それほど悪くなるようなことはないと思う。
コンビニ（経営者）	・季節的な要因として、暖くなれば多少良くなると思うが、競合店の動きが大きいため、変わらない。
コンビニ（経営者）	・チェーン本部によるドミナント政策の影響を受けるとみており、先行きは不透明である。
コンビニ（経営者）	・値上げに対する不安と、だからと言って収入が増えるわけではないため、皆不安な気持ちが強い。
コンビニ（経営者）	・2～3か月先は、少しずつ気温も上がり、人が外に出て消費行動は上向いてくと思うものの、当ショッピングセンター内のテナント撤退等もあり、集客が伸びていくようなマインドではない。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数の上昇は気候による影響が大きいと予想されるため、根本的な消費拡大にはつながっていない。
衣料品専門店（経営者）	・今のところ、景気が良くなる材料は全くみられない。最近、消費者も買物を控えることに慣れた感じで、商品のデザイン、素材、価格などにあまり反応しない人が目立っている。
衣料品専門店（経営者）	・客の購買意欲が落ちている。スキーバス転落事故、食料品不正転売等の報道が続いているからか、安さに対する不信感があるようである。
衣料品専門店（経営者）	・食料品などの生活必需品が優先され、衣料品の購買力はますます低下している。この状態はまだしばらく続く。
家電量販店（店員）	・このまま行けば、家電量販店は生き残りをかけて、他店との差別化に取組まなければならないが現状は停滞しており、変わらないとみている。
家電量販店（統括）	・今後、国内需要は変化がないとみる。特に、ヒット商品が生まれぬ春商戦は厳しい。
家電量販店（経営企画担当）	・内需に関しては、自信を持って大丈夫とは言えない。前年比を割った水準が続き、生活防衛と儉約思考の傾向の現れを受け取っている。多くの消費者は将来の見通しに不安を抱えている。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしているが、整備は順調に入っているものの、販売は芳しくない。消費税が8%に上がったからはあまり良くないが、今年の後半からは、消費税再増税に向けた駆け込み需要がまた出てくるのではないかと考えている。
乗用車販売店（経営者）	・1月第2～3週の土日の来客数は、最近では多い方であったが、景気が上向きになったと言えるほどの来客数、販売数ではない。
乗用車販売店（経営者）	・新車販売の落ち込み分を、サービス部門で補う状態である。
乗用車販売店（渉外担当）	・新型車はまずまずだが、総販売量は前年並みである。個人消費が良くない。
乗用車販売店（総務担当）	・需要月の反動減は避けられないが、現状維持を期待したい。

その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	・春は花粉の動向次第で、全体の数字が影響を受ける。今年あまり当たり年ではないため、少し早目に展開し、認知を拡大したい。
その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	・変わらないような感じがする。
その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・連日、中国経済や日経平均株価の低下が報道され、景気に対する不安感が先行しつつある。
その他小売 [生鮮魚介卸売] (営業)	・世間的な不安材料が多い。
その他小売 [ゲーム] (開発戦略担当)	・引き続き、良くなる材料がない。
高級レストラン (経営者)	・地方都市では転入者数も若干増えているため、悪くはない。大型店の縮小により一部閉店、解体が始まり、しばらくは横ばいを予想している。
高級レストラン (副支配人)	・法人関連の宴席予約、来客数の推移から判断し、変わらない。
高級レストラン (仕入担当)	・年が明けても食材の値上げが続いている。それに合わせた価格で商品の値上げをしたいが、そこまでの勢いがまだない。
一般レストラン (経営者)	・依然景気の不透明感は否めないが、空き店舗は減っている。
一般レストラン (経営者)	・株価も下落し、景気が悪くなっているようである。消費税増税に関連する値上げの話題もニュースで流れ、消費意欲がどんどん冷え込んでいる気がする。また、人件費等も上昇しており、経営的には苦しくなっている。
一般レストラン (経営者)	・相変わらず人手不足で人件費が高騰し、原材料の高騰による原価率の上昇など、厳しい状況は続く。
一般レストラン (経営者)	・先日の沖縄の市長選挙の結果で、ある程度アベノミクスが評価されているのかなと感じている。夏の参議院議員選挙までは、浮いたり沈んだりが繰り返されると思うが、大きな底割れはしないのではないかと。
一般レストラン (経営者)	・2月は、雪など天候の影響で来客数は減るが、3～4月は歓送迎会などがあるため、客の流れが戻ってくると考えている。
一般レストラン (スタッフ)	・本当にどこを見ても、どこで景気が良くなっているのか、全然良くない。オリンピックの時期にでもなれば、地域的に少しは良くなるだろうが、それだけ費用をかけても結果的に維持できるか分からない。そんな先のことは分からないが、良くない。
都市型ホテル (スタッフ)	・消費税が来年増税することやその他、良い、悪い、両方あるため、景気の動向は読みにくい。
旅行代理店 (経営者)	・スキーバスの事故等の影響もあるのか、現状、客が増加してくる状況にはない。
旅行代理店 (従業員)	・団体旅行の問い合わせ、見積依頼件数が、なかなか増えてこない。大型の団体予約はすでに終わっており、直近の団体旅行予約が、どれだけ発生するかに依存せざるを得ない。
旅行代理店 (従業員)	・販売量、仕事量はかなり増えてきているものの、収入面では変化がなく、しばらくは変わらない。
旅行代理店 (従業員)	・大きく転換できるような要因は、見当たらない。
タクシー運転手	・3～4月の年度替わりに向けて、今、周りではいろいろ道路工事など行われ、ばたばたしている。我々はその動向をみている状態で、決して良くはなっていない。
タクシー運転手	・景気の足踏みが長引いている懸念や来年4月に予定する消費税率の10%への引上げ前の駆け込み需要で、消費は一時的に盛り上がるものの、今年夏までは低調で推移すると予測するという報道もあり、景気は変わらない。
タクシー運転手	・前年の秋ごろから、売上が伸びていない。今年もしばらく利用の少ない日が続くそうである。22～5時までの深夜割増料金時間帯の利用が減っている。閉店する店舗も増えている。
タクシー運転手	・良い材料が見当たらない。
タクシー運転手	・タクシーにとって重要な、企業の残業や深夜の飲食が、これからは望めないのではないかと。しかし、報道等による大企業の業績は悪くなっていないため、その矛盾点が、多少希望となっている。
タクシー (団体役員)	・年初からの株価低迷の影響か、街中に活気は感じられない。月中の積雪による交通混乱から、降雪当日は稼働率が上昇したものの、外出を控えた方も多くいたと思われ、実態は景気回復とは言えない。
通信会社 (営業担当)	・今後急速に好転する材料がない。

通信会社（営業担当）	・客への案内がほぼ終了するため、新しいサービスや付加価値を提供しなければ契約の増加は難しい。	
通信会社（営業担当）	・契約数については底入れの兆しもあり、これ以上の契約数減少はないものと思われる。	
通信会社（管理担当）	・電力自由化による客の奪い合いは始まっているものの、いまだ慎重に判断している客が多いため、足元の景気は、極めて限定的になると見ている。現在は初期購買層の動きであり、消費者全体に浸透するには数年かかると思われる。	
通信会社（局長）	・4月から電力小売の自由化が始まるものの、金額的に少額の割引に過ぎないため、消費に対して大きなインパクトにはならない。今夏のオリンピックが起爆剤になる可能性はあるが、これも一過性となる公算が大きい。	
その他レジャー施設（経営企画担当）	・今後、株安、原油安の景気への影響は気になるものの、催事や宿泊のバックオーダーは堅調に推移している。	
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・良くなる要因は思いつかず、客の様子も暗い。	
その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・客の購買意欲が出てきていると感じるため、今月の調子がそのまま続けば、良い方向で変わらない。	
設計事務所（経営者）	・消費税増税をにらんで建設投資が活発になることを望んでいるが、ここ2～3か月の動きはあまり変わらないと思う。新年度に入ると多少影響が出てくると予想するが、それまでは今のまま推移しそうである。	
設計事務所（所長）	・新規物件の予定は立たないものの、継続的な作業は続くため、変わらない。	
設計事務所（職員）	・補正予算を見ても、大きく変わる要素はないようである。	
住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場の来客数は消費税増税前の駆け込みの気配が出始めて、正月以降、少しずつ伸びてきている。受注の動きは5月以降ではないかとみている。	
住宅販売会社（従業員）	・今のところ急激に景気が悪くなる情報もないが、金融関係も引き続き融資の体制を変えないようなので、景気は現状維持で推移していく。	
住宅販売会社（従業員）	・今後は、消費税増税前の駆け込み需要に期待したいところだが、不動産は価格そのものが高額であり、消費税額も大きくなるため、見通しは明るくない。	
やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・当店で、いつものお茶が買えるという安心感があり、常連客は慌てずにお茶を飲み、ゆっくりと世間話に花を咲かせて、生活を楽しむ様子が見受けられる。そういう客もなかにはいるということである。来客数、客単価共に、変化はない。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	・これから先の景気だが、この悪さはこのままずっと続くのではないかと感じている。
	百貨店（総務担当）	・商品の買い回りも進まず、全体として売上に結びつかない動きは今後も続く。
	百貨店（広報担当）	・大臣の緊急人事や原油安、円高などの影響からか株価は17,000円前後で停滞している。日銀の次の一手も難しく、景気の上向き高揚感がない。春闘でのペースアップも企業業績のアップと連動せず、給与の増額はさほど期待できないため、個人消費も期待できない。
	百貨店（営業担当）	・中国市場の悪化や為替等の影響により、婦人服の価格が安定しない状況である。価格を上げると売れず、下げてもカバーできるほど数量が売れないため、厳しい状況は続く。
	百貨店（販売促進担当）	・株価下落等の影響か、金の売上が大きく伸長している。消費するよりも資産を守る動きだと思われ、客も景気については警戒感を示していると感じる。
	百貨店（営業企画担当）	・原油価格の値下がりは今のところ追い風として捉えるべきだが、一方で、株価の低迷も続いている。富裕層の消費動向は、これまでどおりの状態が続くとは言えない。今後は、春闘の動きに着目し、賃金上昇が個人消費の底上げにつながることを期待したい。
	百貨店（店長）	・価格以外の価値が見出し切れず、特に、柱であるアパレルがセールでも苦戦している。
	スーパー（店長）	・来客数、取引数等は変化にないものの、単価の下落がみられる。可処分所得が減るなか、客の食べたい物の量目は変化せず、単価が上がらない傾向にある。
	スーパー（営業担当）	・最近の円高、株安の影響が続けば、さらに景気が落ち込むと予想される。この世界経済の状況によって、今後の状況は相当変わってくる。
	コンビニ（経営者）	・特に根拠はないが、やや悪くなる感じがする。

衣料品専門店（経営者）	・今年に入り、株に比例する訳ではないが、株の乱高下があり、消費動向もあまり活性化していない。デフレ脱却にもならず、物価だけが上がり、こうした状況が長引くと、この先、あまり大きな期待は望めないような気がする。
衣料品専門店（営業担当）	・客の買い方も前年1年間で本当に変わった。暑いから買うのではなく、必要な物を必要な分だけ、1日中探して1点だけ買うという客が大変増えている。本当に不景気で、個人店はこれからどんどんなくなるといふ雰囲気が伝わってくる。
乗用車販売店（店長）	・1月の景気を維持する材料が見当たらないため、不安である。
住関連専門店（統括）	・景気の回復が具体的に表れていないため、買い控え等が進んでいる状況にある。
一般レストラン（経営者）	・国際的には原油安、ヨーロッパ経済の停滞、中国のバブル崩壊、アメリカ大統領選の影響、世界的天候不順などネガティブな要素がある一方、国内では、暖冬、原油安、円高の影響が次第に現れてくる。
都市型ホテル（スタッフ）	・2～3か月後の受注は全体的に伸び悩んでおり、前年と比べてマイナスで推移しているため、景気はやや悪くなる。
都市型ホテル（総務担当）	・中国を中心とした株式の下落や円高傾向等のため、景気は今よりも徐々に悪くなっていくのではないかと。
旅行代理店（従業員）	・前年同期比の進捗状況が、90%程度で推移している。
通信会社（経営者）	・新入退居の時期を迎え、分譲相対契約による新規獲得は好転している。管理会社経由の入居情報による加入獲得は繁忙期であるが、その動向に左右されて、本来需要による加入意向は弱い。
通信会社（経営者）	・中国経済の失速や石油価格低下の影響により、世界的な景気に対する不安がくすぶっている。いずれ日本企業にも影響が出て、客の意識にも影響を与える。
通信会社（社員）	・引越シーズンに入り、例年同様に解約、加入共に増加が見込まれるものの、サービスメニューの変更に伴う解約が増加するとみている。解約防止が課題となる。
通信会社（営業担当）	・良くなる材料に乏しく、現状の流れからの脱却を見通すことが出来ない。
通信会社（総務担当）	・春闘の賃金要求は低額であり、為替レートの回復もあまり期待できない。
ゴルフ場（従業員）	・経済再生担当大臣の辞任により、野党の追及など、政治は混乱している。早く混乱を鎮め、安定した政権で政策の充実や執行を図っていただきたい。
パチンコ店（経営者）	・今後の機械は、正式にメーカーと警察側の許可を取ったものになる。今までもそうだと思っていたが、そうではない機械もあったようで、既存の機械ははずさなくてはいけない。従来より面白い機械が出てこないのではないかと、面白みのある機械が減るのではないかと、今までよりマイナスになるので、やや悪くなる。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・生徒数が減少し、周辺他塾の価格帯も多少安くなっている。生徒を囲い込むために、無料時間帯を多くするなど、奪い合いになっているせいかもしれないが、減少に歯止めがかからない。面談をしていても、景気が良くなっている感じはまだ受けない。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・前年に比べて客の問い合わせなどが少なく、ポジティブな用件が少ない。
設計事務所（経営者）	・今回の内閣人事の件でも影響があるのではないかと。全体としては、内容は暗く、景気は下方向を向いている。超大手は良いが、一般住宅会社は悪く、見えないところの設計を探しているような状況である。当社は過去から地道に説明をやってきた結果、良い方向だが、内容としては悪い方向に向かっている。
設計事務所（所長）	・通常であれば、年末には来年度の仕事の相談や計画をしているが、現状は一切ないため、良くなるとは考えにくい。
設計事務所（所長）	・今後消費税が10%に上がるということで、駆け込み需要等で仕事が増えると思えるものの、オリンピックが開かれる都心の仕事はあると思うが、地方は今、非常に仕事が少ない。これから景気が良くなるとは到底思えない。
住宅販売会社（従業員）	・株式市場の不安定さにより、住宅にお金をかける方が減ってくるとみている。そのため、住宅産業全般が減速し、景気はやや悪くなる。
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・日々の仕事量は確保できているものの、新規物件が決まっていないことから、先々の手持ちが減っている。
悪くなる 一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・オーバーストアのため、悪くなる。

		百貨店（販売促進担当）	・以前に比べて、インバウンド需要が下落傾向である。特に宝飾品等の高額品に陰りが見えてきている。
		コンビニ（経営者）	・1月の流れのまま2月に行くと思われるが、恵方巻、バレンタインなどのイベントはある。ただし、降雪など不確定要素も多分にあるため、非常に厳しい月になると思う。
		コンビニ（経営者）	・コンビニの出店ペースが速いために、近隣客がばらついてきている。来客数が減少するとともに、売上に影響をきたしており、今後1店あたりの売上は下がる一方だと思ふ。
		衣料品専門店（店長）	・半年ほど前年同時期比で、単価の下落傾向が続いている。
		一般レストラン（経営者）	・TPP担当大臣が、個人のことで辞任あるいは、世の中から認められなくなった場合に、日本はTPPに参加するのかが、参加してプラスになるのか、しないでプラスになるのかが良く分からないが、あやふやになり、経済的には決して良い方向には向かわない。
		旅行代理店（営業担当）	・しばらくの間、バスツアーは敬遠される。
		観光名所（職員）	・当地は観光地のため、2～3か月後は閑散期に入り、今月から半減すると考えている。
		住宅販売会社（経営者）	・中小企業の景気が良くなり、中間層の所得が増えない限り住宅は売れない。住宅に関しては消費税を免税にしても良いのではないか。住宅が売れるということは、経済波及効果がかなりあると思われる。公共工事は、工事原価の見直しをしてもらわないと、防災工事なども進まないと思われる。
企業 動向 関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・地元商業高校の学校協議会委員をしているが、就職内定率が近年にないほど良く、募集人数も通常より多いと聞いている。景気は良い方向に向かっている。
		食料品製造業（営業統括）	・季節らしい天候になれば、売上も伴ってくる。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・個人の実印や銀行印の注文は、それほど変わらないが、法人関係がやや上向いてきていると感じる。特に、神社仏閣からの注文が増えている。これは裏返せば、不景気だから人々が神社仏閣に行き、それで注文が出てくるのかもしれない。
		建設業（経営者）	・あと1年ぐらいいは順調ではないか。異業種の仲間に話を聞いても、順調そうである。
		建設業（従業員）	・得意先の動きから、やや良くなる。
		輸送業（経営者）	・新年度を迎え、取扱量の増加が予測される。また、燃料価格も値下がり傾向にあるため、現状よりも景気は好転する。
		輸送業（総務担当）	・年度末までは取引先の荷主の出荷量が、微増状態で推移しそうである。また、燃料価格の下げ基調も続く模様である。
		通信業（広報担当）	・先進国の協調的な金融政策により、緩やかに回復する。
		税理士	・アメリカの景気が少し良くなってきており、日本車が売れている。これはプラス要因であるが、逆に中国の景気が悪くなって不透明である。日本の景気は、やはり原油安が進み、物価が少し安くなるだろうし、アベノミクスが引っ張っていってくれると期待しているので、少し良くなっていく。
		その他サービス業[ソフト開発]（従業員）	・仕事の引き合いが途切れていないため、今後は上向く。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新規事業が当社に追い風となるか不明である。2020年に向けての需要を期待している。
		化学工業（従業員）	・先行きの受注量も増えず、石油価格の下落が原料価格にも影響する。良くなる要因はない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・例年同様3月の年度末にかけて、若干受注売上が増えるかもしれないが、補正予算が決まった今でも、新規の追加的な動きはなく、景気は変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・見積件数は多くなっている。年度末に向かい、受注が決まりそうではあるが、価格が安く利益を出すのが大変である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・現時点では、明るい話は全然ない。現状をそのまま引っ張ってしまうのではないかと。
		電気機械器具製造業（経営者）	・例年どおりに推移するとみているが、3月には海外の展示会に出品し、輸出の上乗せをもくろんでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いのなくなった取引先は、各所で見通しが悪いと言っている。最近では引き合いがあっても、成約が発生しておらず、当分の間はこの状況が続く。
		その他製造業[靴]（経営者）	・全体的な状況のなかでは、大きく変わる理由はないようである。ただし、現状維持するための企業努力は、絶えず行っている。

その他製造業 [化粧品] (営業担当)	・美容室、理容室を含めたサロン市場で、景気が上向くという予測はなく、冷え切っている状態が依然続いている。客の来店周期も長期化しているとよく聞く。	
建設業 (経営者)	・政策が実施されていない。	
建設業 (営業担当)	・1月に入り株価やガソリン価格の値下がりにより、景気は不安定になってきている。現状、仕事に影響はないが、先行きは不安である。	
建設業 (経理担当)	・契約した工事案件も、都内の工事現場に職人が吸い上げられる状態になりつつある。人手不足のため、労賃が上昇傾向である。また、それに見合う受注単価が得られない。材料の値上がりは大分落ち着いてきたものの、工事を受注しても利益が出ない状態が、この先も続きそうである。	
輸送業 (総務担当)	・年度末、新年度に向けて、販促関連の物量が増えてくる時期になるが、今年はぱっとしない。引き続き厳しい状況は変わらない。	
金融業 (統括)	・中国景気も良くなく、今後の良い材料もないため、しばらく低迷する。	
金融業 (従業員)	・前年同時期に比べて、厳しい業況見通しの取引先は減ったように感じられる。一方で、婦人服販売など一部小売事業者では、暖冬による売上減の影響が出ている。	
金融業 (支店長)	・上場企業を中心に企業業績は良いため、国内景気が落ち込むとは考えにくい。当面は、横ばいと考える。	
金融業 (営業担当)	・今後の取引先受注状況は、先行きが不透明であるとのことなので、景気が良くなるとは言えない。	
金融業 (役員)	・人手不足等の理由から残業が増えており、消費が活発化しているように思われる。	
不動産業 (経営者)	・好転を期待するのみである。物件過多は否めない。	
不動産業 (経営者)	・当テナントビルは満室で、しばらくそのまま推移しそうである。飲食店主の話では、接待客も増えているものの、早く切り上げることが多く、まだ景気が良いとは言えない。	
不動産業 (総務担当)	・自社保有ビルの満室稼働は当分続く見込みである。また、賃貸料についても、最近では若干の値上げについてはテナントから了承が取れるようになってきており、状況は良い。	
広告代理店 (従業員)	・新規案件は特になく、前年並みの販売数値で現状維持となっている。	
広告代理店 (営業担当)	・新規取引先からの相談は舞い込んできているが、既存取引先の出稿量や内容が減るとみている。関連会社の業績もあまり芳しくなく、それにたづねられて春は厳しいと予測している。	
経営コンサルタント	・依然として、消費者の財布のひもは固いという声を聞く。特に好転する材料はない。	
税理士	・株価が不安定で先が読めない。春物衣料の購買意欲を盛り上げるような良い材料はない。	
経営コンサルタント	・高齢者介護のデイサービス事業を行っているNPO法人の理事長は、「利用者の送迎を含む事業所の車の運転手を募集しているが、採用に結び付かない。応募が少ないため、事業拡張を計画していたが、再検討が必要となっている。人手不足がこんなに深刻では中小企業も大変だろう。」と語っている。	
経営コンサルタント	・大手の下請企業への受注増加などの好影響は、限られており、波及はみえない。また、若手人材の減少で、大手企業が人材採用を強化していることにより、中小企業の人材確保難に拍車をかけている。	
その他サービス業 [廃棄物処理] (経営者)	・市場を活性化させようと皆努力しているが、同業他社との競争も激しくなっており、値下げ対応に追われている。差別化、独自路線をいかに打ち出していくかが、生き残りの鍵となりそうである。	
その他サービス業 [警備] (経営者)	・しばらくは、現状のまま推移していく。	
その他サービス業 [映像制作] (経営者)	・取引先も現在の株価の様子や、原油価格の下落などで、景気の先行きについては、大変疑心暗鬼になっているため、今後良くなるのか悪くなるのか分からない状態である。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業 (所長)	・新年度用の年間案件の予算見積を提出しているが、軒並み価格面での削減方向が強く、受注確保以前の問題が大きな障害となっている。
	プラスチック製品製造業 (経営者)	・大手電機メーカーのリストラ策により、取引先の存続が危ぶまれており、途方に暮れている。
	金属製品製造業 (経営者)	・中国の景気後退とエネルギー価格の低迷から、景気は低迷している。
	建設業 (経営者)	・予算に合わない入札が多くあり、その結果、経済が回っていないと感じる。

		輸送業（経営者）	・世界的な株安傾向に、各市場もなんとなく元気がなくなっているような気がする。そうした流れは、経済の活性化を遠ざけてしまう危険性があるのではないかと。
		広告代理店（経営者）	・来期の様子が明確になっていない現時点では、3か月後の4月について何とも言えないが、現実を思うと良くない方向しか思い浮かばない。
	悪くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・中国景気の減速、原油安、株安とアベノミクスのシナリオとすべて逆である。経済は本来需要と供給のバランスであるが、実体経済とマネー量のアンバランスによって、投資家はどこへお金を動かすかのための経済になっている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・株価下落による企業の含み益の減少で、次年度予算が厳しくなる。
雇用 関連 (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今の段階で、3月ごろに増員、募集の計画をもらっている会社が14社ある。年間を通して1月はかなり多いが、これからは年度替わりの時期である。突発的な駆け込みの大口の動きは、1月に匹敵する、あるいは、それ以上のものがあると予測している。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・年度末に向けて、新たな求人が発生する可能性が高い。
		人材派遣会社（支店長）	・年度末にかけて他社のリプレースを含め、ニーズが出てくる時期である。そのため、営業活動次第で、受注数も登録者数も増やせると思っている。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人募集の要望は右肩上がりであり、雇用条件も良くなってきている。募集が減少する懸念材料もないため、このままの状態が継続する。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・企業の求人数が多くなっている。
		職業安定所（職員）	・正社員就職件数は、若干ではあるが、3か月連続で前年同月比プラスを維持している。
		職業安定所（職員）	・直近3か月の有効求人倍率は、10月は1.21倍、11月は1.27倍、12月は1.40倍で推移している。また、12月の前年同月比では、0.28ポイント増加している。
		職業安定所（職員）	・新規求職者が着実に減ってきているなか、新規求人は前年度に比べ大幅に増えている。
		職業安定所（職員）	・人手不足感が強いのである。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・景気が回復するような要因は見当たらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人は順調に増えており、人材確保に苦勞する状況が続いている。しばらくはこの状況が続く。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人、求職共に、より条件の良いほうへの動きが活発になり、その分マッチング難易度は高くなっていく。雇用に関しては、現状より若干良くなると思うが、改善されると言えるほどではない。
		人材派遣会社（支店長）	・派遣の求人、求職数共に、ここ数か月変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・日本国内では一部に影響が出てきているものの、持ち直すか、悪くても現状維持ではないかと思われる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・通常なら、春に向けて求人募集企画を考えてほしいと依頼が増えてくる。しかし、今年は現状の人数でやっていくという企業が多い。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・身の回りや周辺企業で景気が良くなる要素が感じられない。
		職業安定所（職員）	・日銀のマイナス金利などの効果が、中小、零細企業などに及ぶまでにはしばらく時間を要すると思われる。景気の閉塞感から脱却するまでには、更に時間を要する。景気が上向いたと実感できるまでには、まだ相当な時間がかかり、個人消費なども伸び悩むものと予想する。
		職業安定所（職員）	・東京全体では新規求人数は引き続き増加傾向にあり、全体としてみる限りは改善傾向にある。当管内の動きと反対であるため、良くなることも悪くなることも判断がつかず、変わらないとしている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・企業の採用意欲は高くても、単純に採用人数を増やすわけではない。外国人採用は増えているが、その分、日本人学生枠は減少するのではないかと。採用経費の配分に変化が出る年になる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新年度に向けた採用のようで、4月以降は不透明である。
		民間職業紹介機関（経営者）	・国内外の経済環境が短期的に良くなるとは思えないため、人材面でもしばらくの間は拡大計画はなさそうである。
		民間職業紹介機関（職員）	・3月に向けて、新卒採用は大きく活発になっていく時期である。
		学校〔大学〕（就職担当）	・就職活動解禁との関連がある。

やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・経営者の方と話をしたが、「中国経済の不安定さがここへ来てはつきり出てきて、非常に心配である。今後3月くらいまで、このまま悪い状況で行くのではないか。株の大きな変動も非常に気になる」という声が多い。
悪くなる	-	-